

社会的養護の当事者推進団体 なごやかサポートみらい

# みらい通信

〒462-0058

愛知県名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1

## 第13号

TEL (052) 911-8523 (不在時転送対応)

事務局 FAX(052)912-7107 事業部 FAX(0569)89-7968

平成22年2月1日発行

HP <http://nagoyakamirai.web.fo2.com>

「みらい通信」は会員の皆様にお送りしているなごやかサポートみらいの広報誌です。

行政機関・名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県の児童養護施設・自立援助ホームにお送りさせて頂いています。当会は任意団体で運営しています会員の皆様からの会費・寄附金・助成金で運営しています。広報誌は2ヶ月に1回(偶数月)に発行し送付させて頂きます。

### 1. オレンジリボン鎮魂集会・パレード

みらいとして今年は5名が参加をしました。当日は800人の参加者でした。天候も良く外はとても寒かったですが受付近くでみらいのCD販売と通信を販売しました。参加者が年々増えており来年もみらいからまたは、東海三県の施設職員の方や福祉関係者、大学関係者の方など沢山の方が参加して頂ければと思います。 [会長 清水真一]



11月21日土曜日。快晴。

会場の日比谷公会堂には私の知っている東京や千葉の団体の他にも、スタッフの方が沢山いらっしゃいました。職員さんや、長く福祉活動に携わっていらっしゃるような年配の方もいれば、学校で福祉を専攻している若い学生さんまで。こんなに沢山の方が動いている大きなイベントなんだとビックリすると同時に、世間ではそれだけ子ども達の命、尊厳が脅かされる事件が多いのだと改めて感じました。

日向ぼっこの渡井さんは12月から産休に入られるとの事でしたが相変わらずパワフルに動き回っておられて感動。産休に入ったら、のんびりして出産まで健やかに過ごしてくださいね。

開演時間になると一階客席はほぼ満席。福祉関係の方の他に、お子さんと一緒に来られ



たお母さんや年配のご夫婦など参加者の年齢も様々でした。

— 1 —

開演の挨拶の後、まずは Masa さんのライブ。初めて参加されたとの事で、少し緊張されていたようです。

自己紹介の中で「こういう集会有る事を初めて知った。自分のできる事は全体からすればとても小さな事だけれど、千里の道も一歩からだと思って少しでも貢献できればと思います。」と言ってくださいました。みんなの一歩が、集まれば千里になる。とても優しく励まされる言葉でした。

続いて VOXRAY。もう何度か参加されているとの事です。メンバーの挨拶の中で、お一人が言われた言葉がとても私の心に染みしました。「また、この集會に参加させていただきました。が、来年はこの集會に呼ばれなくなりたいです。というか、この集會がなくなっている事を望みます。」

本当にそうですね。子どもの成長の為の学習会とか、楽しいコンサートではないのだから。

今年でこの集會は7回目。予算不足などで開催できなくなるのではなく、会の存続に意味がなくなり、解散できるようになってほしいです。

オーケストラやサクスの伴奏の中、今年発覚した子どもの虐待事件が次々と読み上げられていきました。何人読むの？何十人？わかっているだけで？

理由は？子どものわがまま？親の身勝手な考え？何故そこまでするの？いつ読み終

わるとかもわからない程の事件の数。子どもを持つ親の殆どは、子どもは守るべき存在である事を知っています。ほんの少数は、子どもは親の勝手にできるオモチャのような物と思っています。

そこからまた更に少数が、自分のオモチャだから壊しても良いと考えるようです。親の自分に意思があるように、子どもにも意思がある。それに気づいてさえくれたら。と思わずにはいられませんでした。ポスターのデザイン賞受賞などの後、パレードに出る前の公会堂内での最後の挨拶に、千葉のゆうちゃんが話されました。澤村自身も死ぬまではいかずとも、けっこうな虐待を受けてきたなと思って、その体験などを話す事もあります。ゆうちゃんは自身の体験の他に、母になった現在の気持ちも交えて会場の方々にしっかりとこれからの思いを伝えておられました。年齢が若いとか上とか関係なく、自分の中の芯をどれだけしっかりと建てているのが親として大事な事なのか、よく伝わりました。パレードは人数が多いのでいくつかのグループに分かれて出発。銀座周辺を巡って東京駅付近の公園まで。道行く人達の声は「何の団体？」「車道塞いで邪魔だなー」が多かったですが、



「子どもは大事だよ、ママはあなたの事本当に大好きだよ」とご自分のお子さんに話し掛けるお母さんがいらっしやったのを横目で見ながら「ありがとー！ずっとそのままいてね。お母さん！」心の中で叫んでおりました。初めて参加したこの集会。来年の開催はなくなる事を願っております。 [澤村真由美]

家庭というのは外から分かりづらいものです。核家族の多い現代社会において子育てをサポートしていく活動、また一人一人の未来ある子どもを守っていく活動を通じて、オレンジボンがなくなるそんな日が来ることを切に願います。[平口可奈]

## - 2 -

### 2. クリスマスチャリティコンサート (ハミングバード・チャリティー一般財団)

12月12日(土) 11:00~13:15 パセラリゾート銀座地下3F Bena

当日は、関戸副会長と清水会長が参加をさせて頂きました。

### 3. 子どもへの暴力防止フォーラム ~子どもの視点でとらえること~

12月12日(土) 朝日ホール(東京) 虐待防止プロジェクト助成の報告

朝日新聞厚生文化事業団様から、当団体に2年間にわたり助成金を頂いて活動をしています。今までの当団体の活動内容をフォーラムに参加された方へ清水会長が紹介をさせて頂きました。今年の10月まで助成金を頂きまして活動を行います。

### 4. こどもがのぞむ社会的養護を考える大会 (日本女子大学目白キャンパス)

12月12日(土)~13日(日)

1日目 14:00~17:00 開会式・円卓会議

2日目 9:30~17:00 シンポジウム

【主催】NPO法人里親子支援のアン基金プロジェクト

この大会には、清水会長が参加させて頂きました。1日目の円卓会議では施設で育った方や里親で育った方、そして里親の実子の方、里親の方が参加をして里親家庭で育った時のお話や里親の実子の方からは実子の立場でのお話、里親の方からの里親としてのお話やまた、現在施設で働いている職員の方も参加して合計14名で円卓会議を行いました。

今回、このような大会に参加させて頂き、自分は施設での生活経験しかない為に里親制度のことや里親についての現状を知ることができました。今後は、施設についてはよくわかっているつもりですので今後は、里親のことについて制度などを自己で勉強していくことが必要だと認識させて頂きました。



施設で育った方からは、施設生活についての話など、また、自分は施設で育ち現在は施設職員として子ども達の立場やそして職員の立場として両方の視点で1日目と2日目にかけてお話をすることができました。この大会を通して、たくさんの方と出会い知り合うことができました今後色々なところで繋がっていくことだと思います。また、里親の実子の方など、主催者のNPO法人里親子支援のアン基金プロジェクトの方やこのアン基金プロジェクトのお手伝いをしている方の中で、自分が施設に入所している頃に、当時は日本福祉大学の学生さんでボランティアに来ていた方

### — 3 —

に10数年ぶりに偶然再会することができました。最近までは東京都内の施設で仕事をされていたようですが結婚されて愛知県へ戻られているようでびっくりしました。これも何かのご縁だと思っています「みらいの活動に協力しますね」と言って頂きとても嬉しく思います。

この大会に参加させて頂き多くの事を学び、たくさんの方に出会えたことは自分にとって大切な財産だと思います。

#### ～こどもがのぞむ社会的養護を考える大会を終えて～

里親子支援のアン基金プロジェクト 和泉  
広恵

2009年12月12日～13日に、「こどもがのぞむ社会的養護を考える大会」が開かれました。この大会は、社会的養護を経験した方々と関係者が集まり、円卓会議と称して意見交換を行うというものです。この円卓会議の様子は、一般会場にいる200名ほどの方々に生中継で上映されました。



円卓会議を囲んだのは14名ですが、そこにはさまざまな立場の人が同席していました。児童養護施設・里親家庭・養親家庭で育った方、里親家庭の実子、里親、施設職員などです。これまで、シンポジウムや体験発表で社会的養護を経験した人が一人ずつ話すという機会はありませんでしたが、このような方々が一同に集まり、自由に意見を言い合うという場はほとんどありませんでした。特に、里親養育と施設養育は、児童福祉の世界では根深い対立があり、子ども同士が交流することもほとんどありませんでした。また、実子や養子は社会的養護からははずれているという理由で、このような場で考えを述べる機会も少なかったように思います。その意味で、この企画はとても画期的な試みだったと思います。

たまたま大会の主催者という立場にいた私は、円卓会議の出演を依頼するために、なごやかサポートみらいの清水さんをはじめ、全国の施設出身の当事者団体の方々や里親家庭で育った方とお会いすることができ、とても楽しい経験ができました。実は、みなさんにお会いするまでは、大会への出演をお断りされるのではないかとお引受けいただいたとし

ても不快な思いをさせてしまったり負担をおかけしてしまったりどうしようと、内心どきどきしていました。なにしろ、立場の違う方々が集まると、相手を批判したり傷つけあったりすることは、決して珍しくないからです。

しかし、それは私の全くの取り越し苦労でした。参加された方々は、お互いにそれまで生

#### — 4 —

きてきた道のりや感じてきた気持ち、考えに心から耳を傾け、理解したり共感したりしていました。そこには、立場の違いを否定的にとらえるのではなく、相手の考えを知り、生き方を尊重したいという思いが感じられました。そこには、どのようなシンポジウムや講演会にも負けないくらい心に響くものがありました。そして、里親養育と施設養育の対立、養子縁組と里親養育の対立などの議論よりももっと重要なのは、子どもたちのことを思うひとりひとりの気持ちなのだ痛感しました。

この先、どういう形で会を継続するかはわかりません。ですが、円卓会議に参加して下さったみなさま、会場に足を運んで下さったみなさま、大会の開催をいろいろな形で支えて下さったみなさまとの出会いを大切に、これからも子どもが大事にされていると実感できる社会が実現するように、さまざまなアクションを起こしていきたいと思っています。みなさま、本年も、どうぞ、よろしく願います。



### 5.みらい忘年会（名古屋市港区プライマリ）

今回の忘年会は、当会副会長のお店で行いました。参加者は16名程でしたが美味しい食事と、美味しいお酒を飲みながら楽しい時間を過ごすことができました。

会員の方で腹話術のできる方が皆さんに腹話術を披露して下さいました。

ありがとうございました。

今年も、一年、なごやかサポートみらいにとって良い年になればと思っています。毎年、忘年会を開催していきたいと思いますので今回、参加出来なかった方、次回は是非参加して下さいね。

### 6.施設訪問事業 クリスマス会（名古屋養育院）

12月22日（火）18:00～20:00

～名古屋養育院のクリスマス会に参加して～

みらい会員 外山玲那

12月22日の夜、清水さん（会長）、関戸さん（副会長）とともに、名古屋市内の児童養護施設名古屋養育院のクリスマス会に参加させていただきました。このクリスマス会は、みらいとしては昨年も参加したそうで、今年は2回目の参加でした。



会場に入ると、後ろにある入り口から前の方にある舞台に至る

まで、会場全体が手作りのクリスマスの飾り付けでいっぱい



## 5 -

みんなが取り囲む各テーブルには、沢山のクリスマスの特別メニューが並んでいました。クリスマス会が始まる前から、子どもたちは今か今かとそわそわしながら始まりを待っていました。初めての参加で、何が始まるかも分からない中、私までなんだかウキウキワクワクしてきました。

クリスマス会は、100パーセント子どもたちの手作りで、司会も舞台の出し物も事前にかかなりの準備と練習を重ねてきたようで、その発表の場でもありました。幼児さんから高校生まだが、順番にそれぞれ歌や踊りを披露してくれたり、クリスマスにちなんだ演劇を見せてくれました。有志によるバンドの演奏もありました。そして、なんと子どもたちが通う小学校の先生がクリスマスの曲を演奏してくれるというサプライズもあり、なんだかとても心温かになりました。テーブルの料理は、調理場の人たちが特別にメニューを考え、腕をふるった料理でした。そんな料理でみんなのお腹が満ち足りてきた頃、クライマックスのタイミングでクリスマスケーキが各テーブルに運ばれ、みんなで切り分けて食べました。

子どもたちの表情がとても生き生きしていました。今日はクリスマス会で、子どもたちにとって特別な時間だからかなと思いつつ、クリスマス会を楽しんでいる子どもたちを見ていました。「あのねあのね、聞いて〜。」といいながら、施設長の平井さんや職員さんに半分よりかかるようにして学校での出来事や友だちとのやり取りを話している子どもたちを見ていて、子どもたちにとって普段からいい環境、いい人間関係があるからこそ、このクリスマス会のような雰囲気の良い時間が作れているのかもしれないと思いました。

こんな賑やかでみんなが楽しんで過ごすクリスマス会、考えてみると初めてかもしれないなと感慨深く思っていると、参加した小学校、中学校の先生があいさつをしていき、みらいの関戸さんが代表で締めあいさつをする時間になっていました。関戸さんは、子どもたちにみらいのことを知ってもらい、子どもたちにとって支えとなる存在でありたいということを熱心に語っていました。そして、来年には是非ともみらいから出し物を出したいと約束をしていました。

名古屋養育院の子どもたちと触れ合うことができ、施設の雰囲気を感じることができた今回のクリスマス会は、私にとってとても貴重な時間となりました。こうした、子どもた



ちの成長を見守ることができる機会、大切にしていきたいと思いました。あとは、来年に向けて、みらいからの出し物を何か考えないといけません。アイデア募集中です。

— 6 —

### 7.施設訪問事業 クリスマス会（桜学館）

12月23日（水・祝）18：00～20：00

昨年に続き、今年も清水(会長)・澤村さんの2人でクリスマス会に参加させて頂きました。職員の皆さんで夕食の準備をして、子ども達はクリスマス会で披露する出し物の練習を皆でしている様子を見てとても雰囲気がいいなあと思いました。

クリスマス会後には、子どもたちからのお礼のお手紙を頂きましたありがとうございました。お手紙を頂きとても嬉しかったです。来年も是非、サンタさんとして伺いたいと思います。

今回は、清水と澤村でサンタ役をしました。来年も伺える事を楽しみにしています。



### 8.クリスマス大会NPO子どもサポートネットあいちとの共同事業

平成21年12月25日に、“NPO法人こどもサポートネットあいち”が主催のもと、北生涯学習センターにて“クリスマス・レクリエーション大会”が行われました。

当日は、冬であることを忘れるくらい日差しが気持ちのいい日になりました。

今回、長谷川先生にお声をかけていただき、私は初めてクリスマス会に参加させて頂きましたが、会場では子供たちの響き渡る笑い声と溢れんばかりの笑顔が目飛び込んできました。

クリスマス会が始まる前の会場出入り口付近では、廊下壁一面に貼ってある今までの野外活動体験でのお写真を、参加された家族のみなさんが笑顔で自分たちの写真を探しながら思い出話に花を咲かせ、とても和やかな雰囲気の中で、クリスマス会が始まりました。会が始まると子どもたちは目をかがやかせながら、ひとつひとつの催し物に声をあげていました。

日本福祉大学長谷川ゼミのゼミ生のみなさんが、風船でクリスマスリースを作り、男の子と一緒に写真を撮ったり、私も講座中参加させて頂いた“人形劇・絵本づくり”では、劇での話に子供たちからツッコミがあるなど、客席の子供たちと一体化した劇をすることができました。ブラックシアターでの「おもちゃのチャチャチャ」では、子供たちも一緒に歌を歌ったり、おもちゃ箱からおもちゃが飛び出したりと、子供たちはとても



楽しんでる様子でした。

牛乳パックとペットボトルのキャップをリサイクルしてカスタネットやブーメラン作りを体験したり、オカリナとギターの演奏などとても楽しめるものでした。私は、オカリナの発祥地がイタリアなんて知りませんでした。

このように、内容盛りだくさんで、子供たちは好奇心も満ち、緊張感が崩れることなく楽しんでいらっしゃいました。一番にぎやかになったのは待ちに待っていた千坂サンタさんの登場ではなかったのでしょうか？番号クジを読み上げられながらプレゼントを受け取るた

めに千坂サンタの周囲に駆け寄りウキウキしながら待っていた様子は、とても微笑ましかったです。[平口可奈]

### 9. うどんの招待 (若鯨家)

名古屋市千種区上野にあります「若鯨家」の店主様から今回、児童養護施設の子供達にうどんを食べて頂きたいというお話がありました。「若鯨家」はみらい会長の自宅から近くよく利用しているお店です。店主さんとお話をしていの中で、開店して約20年になるとのことです是非ボランティアでということで、施設の子供達に腹いっぱいうどんを食べて欲しいというお話になりました。今回、みらいの団体会員になって頂いている児童養護施設（名古屋文化キダーホルト・鳴海聖園天使園）と店主様から会長が務めている児童養護施設南山寮と3施設を招待して頂きました。このお店の名物は「カレーうどん」です。子供達は自分の好きなうどんを注文して美味しく食べていました。若鯨家の店主さんにはお忙しい中、子供達に美味しいうどんを頂き誠にありがとうございました。若鯨家さんありがとうございました。



### 10. みらい募金 (募金期間12月1日～2月28日)

今年も昨年に引き続き、今年3月に児童養護施設を退所する子供達へなごやかサポートみらいから退所記念品を贈呈する事業を行います。皆さまからの善意をお待ちしています。募金は下記の口座へお願いします。

**ゆうちょ銀行 00850-1-150875 なごやかサポートみらい**  
通信欄には「みらい募金」とお書き下さい。

### 11. 第2回退所記念品贈呈事業 平成22年度 実施予定



名古屋市・愛知県 3月上旬頃 就職支度金贈呈式

名古屋市・愛知県(進学者) 名古屋養育院(昨年実施施設) ・ 名古屋文化センターホール

岐阜県 白鳩学園(昨年実施施設) (岐阜県児童福祉施設協議会を通じて行う予定です。)

三重県 3月7日(日) 松坂市 (三重県児童福祉施設協議会)

## 12. 事業予定 2・3月・今後の予定について

[2月]

9日(火) 運営会(愛知県司法書士会館) 19:00~21:00

11日(木・祝) きいて、わかって 語り合おう 過去・現在・未来 C V V 主催  
～日本とカナダ 社会的養護で育った若者の交流事業報告とともに～  
難波市民学習センター 講堂 13:30~16:30

【当会からは清水会長が参加させていただきます。】

14日(日) 土井ホーム 土井高德講演会

「土井ホームの子どもたち ～そして家族になった～」 13:00~16:00

[会場] 名古屋市北区役所7階 大会議室

参加には事前申し込みが必要です。 [参加費] 会員は無料 未会員は500円

21日(日) 社会的養護の当事者ネットワーク 立ち上げ会 (朝日新聞厚生文化事業団)

[会場] 朝日新聞東京本社 新館1階会議室 13:00~

15:00

【当会からは清水会長が参加させていただきます。】

[3月]

7日(日) 自立を励ます会 三重県児童養護施設協会主催 (三重県松坂市)

退所記念品贈呈事業 【当会からは関戸副会長が参加させていただきます。】

10日(水) 就職支度金贈呈式(連合愛知・愛知県共同募金会)

退所記念品贈呈事業【当会からは清水会長が参加させていただきます。】

(開催日未定) 施設訪問事業 卒業生を祝う会(名古屋養育院)【当会からの参加者は調整中。】

22日(月) 施設訪問事業 卒業生を祝う会(白鳩学園)

退所記念品贈呈事業【当会からの参加者は調整中。】

(会員の皆様へご案内)

なごやかサポート みらい総会は4月25日(日) 13:00~15:00 愛知県司法書士会館を予定しています。ご参加出来ない場合はお手数ですが委任状を事務局へ郵送かFAXで送って下さい。

総会のご案内は3月中旬頃に第14号みらい通信と一緒に送付させていただきます。

**[お知らせ]**

1月下旬から事務局の電話はサロンが閉館している時は転送電話で対応致します。担当者が交代で対応いたします。なお、なごやかサポートみらいからの転送かが判別できませんので、担当者の名前で最初対応いたしますのでご用件を直接お話し頂きますようお願い致します。